
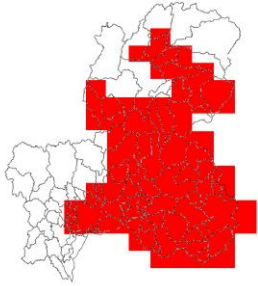


キキョウ	<i>Platycodon grandiflorus</i> (Jacq.) A.DC.	準絶滅危惧類
(環境省:絶滅危惧Ⅱ類)		キキョウ科
選定理由	大部分の分布域において、人為的圧力や生育環境の変化による種の存続へ圧迫が強まっている。	写真(永田幸枝) 
形態の特徴	山野の草地にはえる多年草。太い根茎がある。茎は高さ50-100cm、葉表面は無毛だが、裏面は短毛があり粉白色。花は茎頂近くに数個つき、青紫色であるが、淡紫色や白色のものもある。	
生態的特徴	日当たりの良い草地や、夏緑広葉樹林の林縁部に生育する。	
分布状況	北海道から九州に分布する。岐阜県では県南東部と県南中部に分布するが県北部にも生育地がある。	
減少要因	生育地である草原の土地開発。草刈りや野焼きの停止による植生変化。愛好家による採集圧がある。	
保全対策	適度な草刈りによる草地環境の維持活動。	
特記事項	生育地は多いが、1か所での個体数は少ない。	
参考文献		

文責:永田幸枝